

2020年4月にバランス訓練のための新たなリハビリテーション機器「スパイダー」を導入しました。スパイダーは、身体に装着する留め具付ベルトとベルトから外側に向かって張られたゴム紐を固定する枠「ユニバーサルフレーム」で構成されています。もともとは1993年にNorman Lozinski（ポーランド）が考案し、脳損傷等でバランスが障害されている患者さんに対して、重力を軽減し姿勢制御の訓練する治療機器として開発されたものです。身体から外側に向かって張られたゴム紐が蜘蛛の巣のように見えることからスパイダーと命名されました。国内では脳性麻痺を中心に小児のリハビリテーション施設で広がっていますが、成人の脳卒中にも応用できることを確認し、当院でも導入しました。まだ試行錯誤の段階ですが、体幹失調や片麻痺のバランス改善に効果が出ていることを実感しています。今後も患者さんの回復につながる機器を積極的に導入していきたいと考えています。

